

第502回 （3月定例）福崎町議会

福崎町長 尾崎吉晴

皆様おはようございます。第502回福崎町議会定例会を招集いたしましたところ、全員のご出席を賜り誠にありがとうございます。

令和4年3月議会の開会にあたりご挨拶申し上げます。

今年に入り、厳しい寒さの日が続きましたが、2月も下旬になりますと日差しに暖かさが感じられるようになってきました。これから、三寒四温を繰り返しながら桜の季節が訪れることを楽しみにしています。

さて、2月24日にロシアがウクライナに軍事侵攻しました。第2次世界大戦後も局地的な戦争は起こってはいましたが、これほど世界各国から非難される侵略はなかったのではないのでしょうか。ウクライナがロシアを攻撃することなどは全く考えられません。欧米よりの政権ができたからといって、他国に侵攻し、主権を侵害してロシアの言うことを聞く政権を作る、このような行為が許されるはずはありません。我が国においても毅然とした対応をとってほしいと思います。そして、早くロシアがウクライナから撤退する環境が整えられ、外交による解決が図られることを願っています。

新型コロナウイルスが国内で最初に確認されてから3年目になります。今年に入ってからオミクロン株による感染が急拡大していましたが、ここにきてようやくピークアウトのきざしをみせています。しかしながら、病床はなおひっ迫しており、まだまだ予断を許さない状況が続いています。

そのような状況の中で、本町でも3回目のワクチン接種を進めています。医療従事者、高齢者施設等の入所者及び従事者は優先接種を実施しました。65歳以上の高齢者への接種は、2月中に概ね完了しました。64歳以下の方へは、すべての対象者に接種券を発送済みで、2月下旬から接種を始めています。64歳以下の方についても2回接種後6か月空けての前倒し接種が認められましたので、本町もその体制を整えていきます。また、5歳から11歳の子どもたちへの接種は明日から実施します。

ワクチンを接種したからといって完全に感染を防げるものではありませんが、重症化を軽減できることは間違いありません。令和4年度の重点事業としてワクチン接種をしっかりと進めると同時に、定期的な室内換気、適切なマスク着用、こまめな手洗いや手指消毒、三密を避けることなど、日常生活での基本的な感染対策の重要性についても周

知に努めてまいります。

さて、年末の新聞に気になる記事がありました。

「日本は30年間、国内総生産（GDP）も一人当たりの年収も伸びていない。それは、生産性が上がっていないからだ。人類が見つけた素晴らしいテクノロジーを、欧米や中国は開発と同時にいとも簡単に取り込んでしまうが日本は全然取り込めていない。生産と、物流、販売が全然つながっていない。AIでつなげば最適解を出せるのに、てんでバラバラなことをやっている。一事が万事で、一人一律10万円給付のような国策もスムーズに実施できない。裏返せば、遅れていた分を急速にキャッチアップすることで日本はまだ成長できる。国も、地方自治体も企業もコロナ禍を契機にやるべきことを全部やろうとする決意ができた。」というものです。

日本はGDP世界第3位の経済大国ですが、見方を変えますと、一人当たりのGDPでは、昔は世界第2位、今は世界で24位、アジアにおいてもシンガポール、香港の後塵を拝し、近い将来韓国にも追い越されるといった予測が出ています。GDPが上がらないから、民間の企業の給料が上がらない。公務員は民間準拠だから同じく上がらない。こういった構図がずっと続いてきたわけであります。

岸田首相は通常国会の施政方針演説でこう述べておられます。「経済再生の要は『新しい資本主義』の実現だ。市場に依存しすぎたことで、公平な分配が行われずに格差や貧困が拡大した。市場に任せればすべてがうまくいくという、新自由主義的な考えが生んだ様々な弊害を乗り越え、成長と分配の好循環を作り、持続可能な経済社会を作りたい」ということです。その一丁目一番地は「デジタル田園都市構想」であります。社会のデジタル化を進めて、生産性を上げ日本を再び成長軌道に乗せることが求められていると思っています。

もう一つ重要な課題は気候変動問題への対応であります。2050年カーボンニュートラルは世界の方針であります。本町においてもその視点は忘れないように取り組んでいきたいと思えます。

福崎町もここにきて人口減少が顕著になってきました。国は、各市町に「まちひとしごと創生総合戦略」の作成を求め、人口減少、少子・高齢化対策に取り組んでいます。しかし、私はこの課題解決に特効薬はないと思っています。一番大事なことは、町の魅力を高めて、福崎町に住んでみたい、住み続けたいと思っただけのまちづくりを進めることに尽きるということはこれまでも申し上げてまいりました。その実現のため、まちの総合力を高める指針となる第6次総合計画の策定に住民の参画と協働を得ながら、2か年をかけて取り組んで参ります。

本議会に提出する令和4年度予算は、総合計画の実現と総合戦略の取組みを進め、「活力にあふれ 風格のある 住みよいまち ～住んで、学んで、働いて 未来につながる 福崎～」を築いていくための予算となるよう編成しています。

一般会計予算の総額は82億1,600万円で、対前年度比4,700万円、率にして0.6%の減となりました。特別会計を合わせた総額は、対前年度比21億6,510万円、率にして12.6%の減となる149億6,490万円といたしました。

各課が取り組む主な事業は次のとおりです。

【総務課】

行政改革の一環としてのペーパーレス化を促進するために、文書の電子決裁化を本格的に実施します。令和4年2月から、全庁で課長決裁文書を中心に試験運用しており、試行錯誤しながらも全文書に広げていきます。

任期満了に伴う、参議院議員通常選挙が執行されます。そのほか、令和5年4月に執行予定の兵庫県議会議員選挙、福崎町長選挙の執行準備を行います。いずれも大切な選挙です。正確で公平・公正な執行を図ります。

職員のモチベーションを上げるため、人事評価に基づく給与等への反映をより一層推進します。また、会計年度任用職員についても能力評価を実施し、次期更新時にその評価を参考とします。

友好都市岩手県遠野市との交流事業では、遠野市の産業まつり及び福崎秋まつりにおいて、それぞれの特産物の販売を行い、文化、教育、観光など絶えない交流を継続し友好の絆を深めていきます。

【企画財政課】

令和4年度の本町の予算編成にあたっては、国、県の施策の動向を注視しつつ、福崎町総合戦略の取組みの推進、行政改革実施計画及び公共施設の老朽化対策を着実に実施するとともに、重点事業・新規事業を除く予算規模の圧縮や歳出削減をしつつ、第5次総合計画の実現と、福崎町総合戦略の取組みを進めるとともに、創意と工夫で輝く町を実現することを基本としました。

健全な財政運営について、各種事業を進める一方で、中長期的な見通しを念頭に置きながら、第6次行政改革実施計画に沿って改革に取り組めます。

【税務課】

少子高齢社会となり生産年齢人口の減少が進み、今後貴重な自主財源である町税の伸びを期待することは困難になってきています。まずは税目ごとの課税客体の的確な把握と課税が重要であり、引き続き公平・公正な取り組みに努めます。

あわせて国税徴収法・地方税法・町税条例並びに債権管理条例などの規定に基づき、適正な滞納整理、債権管理を行うことにより、徴収率の一層の向上を目指します。

納税者の利便性向上を図るため、令和3年5月からコンビニエンスストアでの納付や、スマホアプリを使った決済を導入しており、想定以上の利用となっています。令和5年度からの地方税統一QRコード導入に向けて、さらに納税環境の整備に取り組んでいきます。

【地域振興課】

第4期目となる自立（律）のまちづくり交付金事業では、引き続き参画と協働で進める地域の環境保全、防災、福祉活動など、自立に向けた自治会活動を支援していきます。

ふるさと応援寄附金事業では、自主財源の更なる確保に向けて、返礼品の拡充やPRの充実に取り組めます。

また、移動販売事業「ふくふくまる」は、買い物弱者対策として引き続き取り組んでいきます。

地域経済・産業の発展の観点から西部工業団地周辺部での拡張の可能性を探るため調査検討業務を実施します。

観光振興では、両観光交流センターの賑わいづくりに努めます。また、辻川山公園のガジロウや妖怪ベンチを活かした観光PRに努めます。

七種山登山道では、東コースで支障となる倒木の除去や景観伐採など美しい登山道への回復整備を進めます。

【住民生活課】

マイナンバーカードの取得促進を図るため、引き続き写真撮影の無料サービスや休日受付窓口の開設を行うとともに、各種証明書のコンビニ交付サービスの啓発を行います。

通学路の安全性の向上や防犯対策として防犯灯を設置するほか、「福崎町交通安全対策基金」を活用し、凍結防止ミラーの設置や通学路にグリーンベルトを設置するなど、児童生徒の通学の安全確保に努めます。

ごみ処理事業では、神崎郡3町で取り組む次期ごみ処理施設建設に向け、令和3年度に引き続き、生活環境影響調査、令和4年度からは、造成実施設計に取りかかります。

くれさかクリーンセンターでは、ごみ焼却炉の使用が令和3年度末で終了するため、焼却炉停止後の事務組合のあり方などについて、姫路市と協議を進めていきます。

防災対策では、令和3年度に防災行政無線戸別受信機を避難行動要支援者世帯に整備しましたが、引き続き希望される世帯に整備を進めていきます。

【健康福祉課】

民生委員・児童委員の任期が11月末で満了するため、一斉改選を実施します。

巡回バス事業では、土曜日の川西便の渋滞対策のため、土曜日ダイヤの設定を行います。また、市川町連携便は、火曜日、木曜日の週2日から新たに月曜日及び金曜日を追加し、週4日運行とします。

認知症、知的障がいその他の精神上的の障がいがある人の権利擁護等を図るため、今後利用者の増加が見込まれる成年後見制度について、神崎郡成年後見・法福連携推進協議会^{ほうふく}や成年後見相談会の活動を促進します。

福祉医療助成事業では、子育て世帯の経済的負担軽減を図るため、こども医療費助成の対象年齢を18歳までに拡大し、所得制限を設けずに入通院とも自己負担の全額助成を行います。

母子保健事業では、乳幼児健診の記録や予防接種の管理をスマホやパソコンでできるよう、母子手帳アプリを導入し、利便性の向上を図るとともに、妊娠・子育てに関する情報を随時配信するなど、妊娠期から子育て期の切れ目のない支援を行います。また、妊婦が歯科健診を受けやすい環境を整え、妊娠中及び産後の健康づくりを支援するため、妊婦への歯科健診費用の助成を行います。

成人保健事業では、がん患者の治療に伴う外見変化に対する心理的負担や経済的負担を軽減するため、医療用ウィッグや補正具の購入補助を行います。

【農林振興課】

農業委員会では、許認可業務の他、農地利用最適化推進業務を通じ、耕作放棄地対策や担い手への農地の利用集積を進めます。

各自治会において、5年後、10年後の地域の農業がどうあるべきか、地域の皆様で考え取り組んでいただく「人・農地プラン」の策定をさらに推進します。

福崎町特産のもち麦については、もち麦産地振興協議会が大学との連携などを通して、もち麦の健康機能性を活かしたブランド戦略やビールなど新商品の販売戦略を進めます。

農地基盤整備では、工事中的高岡福田ほ場整備事業に加え、山崎地区ほ場整備事業に

についても、更なる推進を図ります。

ため池整備事業では、引き続き三谷池の耐震補強工事を進めます。また、直谷池・板坂奥池・大門大年谷池について、順次防災減災事業に取り組みます。

【まちづくり課】

道路整備では、各自治会内の道路の改修や通行に支障をきたす危険箇所の解消に向けて整備を進めていきます。国の交付金事業を活用し、令和3年度に測量設計に着手した、町道福崎駅田原線の延伸工事並びに町道千束新町線改良工事を推進します。また、西治長野線などの舗装修繕を行います。道路照明のLED化、信号交差点への地名表示などにも計画的に取り組めます。

橋梁整備では、長寿命化修繕計画に基づき、4橋の補修設計、ならびに42橋の定期点検を実施します。

河川整備では、県と協力しながら、市川、七種川の草刈りなど環境整備を行うほか、国の緊急浚渫推進事業を活用し、直谷川の堆積土砂の浚渫などを実施します。

都市計画、まちづくり事業では、地域公共交通網形成計画に基づき、ふくひめ号の充実等に取り組めます。市街化調整区域の活性化については、地域の実情に合った特別指定区域となるよう、見直しを希望する自治会との協議を行うなど、指定の変更に向けた準備を進めて行きます。令和3年度に引き続き、JR西日本が実施する、福崎駅のバリアフリー事業に対し、補助を行います。

公園整備では、令和3年度、福崎浄化センター内の修景施設に子供用の遊具施設「ふわふわドーム」を設置しました。引き続き令和4年度は、「大型複合遊具」を設置します。

空き家対策については、「空き家等情報バンク」への登録をPRし空き家の利活用を図ります。また、空き家等対策審議会と協議しながら、特定空き家に対し指導・助言・勧告等を行います。

【上下水道課】

水道事業では、令和3年度に引き続き、西谷地区の老朽化した配水管の更新工事を行います。また、三宮配水池送水管の耐震化を図るため、更新工事の詳細設計を行います。

下水道事業の汚水整備では、福崎工業団地の旧汚水管の閉塞工事を令和3年度に引き続き行います。福崎浄化センターにおいて、ストックマネジメント計画に基づき、膜カートリッジ更新工事を行います。また、老朽化した公共下水道マンホールポンプの通報

装置及び農業集落排水処理施設の通報装置の改築工事を行います。

雨水幹線整備事業では、川すそ雨水幹線及び直谷第2雨水幹線の工事を進めて行きます。

【学校教育課】

「福崎町学校施設等長寿命化計画」に基づく小学校トイレ改修を進めます。福崎東中学校、福崎西中学校、田原小学校では改修工事を、高岡小学校、福崎小学校、八千種小学校では工事の実施設計を行います。また、令和7年度以降に計画している田原小学校の長寿命化改修工事について概略設計を行い、児童数の見込みなどを考慮しながら長寿命化改修工事について検討します。

文部科学省の「GIGAスクール構想」で整備した校内のWi-Fi環境と児童生徒1人1台端末を使い、授業支援ソフトを有効に活用しながら新しい時代の学校教育を推進します。

小中学校に不登校指導員、学習支援員、介助員、スクールカウンセラー、スクールサポートスタッフを引き続き配置するとともに、スクールソーシャルワーカーによる福祉の視点でのサポートにより教育課題の解決に取り組みます。

幼稚園と小学校、小学校と中学校の連携により、小1プロブレム、中1ギャップへの対応の取り組みを続けるとともに、中学校英語教師による小学生への英語授業に取り組みます。

今の社会、特に国際人として英語は必須となっています。公立幼稚園では、国際理解教育と英語教育を推進するため配置しているALTが行う英語活動を継続します。

友好都市遠野市へ福崎町内小学生が訪問し、「日本民俗学の父柳田國男」を軸とした児童交流を引き続き実施します。

【社会教育課】

社会教育課では、11月に開催される「ひょうご女性未来会議inふくさき」を共催し、男女共同参画社会の実現に向け取り組みを進めます。

第43回山桃忌は、「日本人の家と承継－松岡家・柳田國男のルーツをさぐる－」をテーマに講演会やシンポジウムを行うほか、福井県民俗芸能の披露により『柳田國男生誕の地 福崎町』を広く発信します。

柳田國男・松岡家記念館では、山桃忌のテーマに沿った柳田國男の祖父母を取り上げた特別展を開催します。

大庄屋三木家住宅では、老朽化対策として、県の補助を受け西土塀の補強工事に取り組みます。

また、文化財保存活用地域計画の文化庁認定を進めるとともに、計画の共有と周知を図り歴史文化を確実に保存・継承するための取り組みを推進します。

エルデホールでは、昨年度に引き続き老朽化に伴う調光装置の更新と客席照明のLED化を推進し、地域の文化振興・芸術創造の機会提供を担う施設として、自主公演の企画・運営に努めます。

野外活動センターでは、引き続き照明設備のLED化に取り組み、安全・快適な施設管理に努めます。

さて、今議会に提出した議案は22件です。

(略)

以上、人事案件が1件、条例改正が8件、予算で補正予算、当初予算あわせて12件、その他1件の全22件となっています。

詳細説明は、副町長、公営企業管理者及び担当課長が行いますのでご審議賜りご賛同いただきますようよろしくお願い申し上げます、所信表明といたします。